

女性への暴力をなくすための即興劇
「観て、感じて、考える
ドメスティックバイオレンスの構造」

日時：2009年 11月14日（土）
午後2時～4時
会場：交流ラウンジ

プレイバックシアターとして劇団プレイバックーズによるDVをテーマにした即興劇を上演した。ファシリテータが参加者の体験談を個別に聴き、4人（1人音響担当）の演者が即興劇にする。DV支援者、DV当事者から語られる体験談を劇で観ることで、参加者はリアルに体験を共有し、会場全体が一体になった。また、山口佐和子さん（愛知県立大学非常勤講師）より、あいちモリコロ基金助成事業プロジェクト『DV被害を受けた女性の暮らし復興調査』の内容報告を行った。

講師／劇団プレイバックーズ

参加人数／ 39人（女性 33人、男性 6人）

参加費／ 1000円

助成／あいちモリコロ基金助成事業



ご意見ご感想をいただきました

- ・ 重いテーマなのに、「話せる雰囲気作り」がとてもたくみなのに感動しました。
- ・ 観た後、どのような感想を抱くか、こわかったが、事実を受け止め、前向きな気持ちになれました。
- ・ 人間の複雑な気持ちを表現し、共感することの大切さを感じました。
- ・ 打ち合わせなく、3人の心が合ってしっかり表現されていることに感動いたしました。また、現実的な事に涙がでました。
- ・ 2度目でしたが本当に即興劇の素晴らしさに心打たれます。
- ・ 初めて拝見させていただいてびっくり。演者さんの力量にほんとに驚きました。
- ・ DVについて考えるいい機会になりました。
- ・ 自分のやっている活動の参考になった。
- ・ 双方向でDVについて気づき、考えることができて良かったと思う。せっかくのイベントなのでもう少し多くの人に参加してもらえるとよかったのではないかな。



プランなごや2 1

目標2：女性の人権尊重



名古屋市男女平等参画推進センター 指定管理者
NPO法人参画プラネット